

2004 年度日本木材学会中部支部大会報告

三重大学生物資源学部

三亀啓吾

2004 年度日本木材学会中部支部大会が平成 16 年 11 月 1（月）～2（火）、三重大学三翠ホールと松坂市にあるウッドピア松坂で開催されました。

本大会は中部支部に所属する東海・北陸 8 県の中から毎年 1 回、輪番に開催されております。本大会は三重県が担当であり、三重大学生物資源学部 船岡正光先生を実行委員長として準備が進められました。

本年は、8 月に札幌にて木材学会年次大会が行われ、10 月にリグニン討論会が行われこともあり、発表依頼が少なくなってしまうのではないかと心配されましたが、研究発表会は、口頭発表 22 件、展示発表 13 件が行われ、活発な議論が行われました。参加者も約 120 名と予想以上の皆様にご参加いただき、とても盛大な支部大会となりました。1 日目の夜には三重県久居市にある榊原温泉 河鹿荘で懇親会が行われました。清少納言ゆかりの良質な温泉のもとスキニップがとられました。

2 日目は会場を松坂市の木材コンビナート「ウッドピア松坂」に会場を移し、総会と特別講演が行われました。今回は日本で最初の FSC 森林認証を取得されました三重県の速水林業の代表である速水亨氏に「持続的資源としての森林」と題してこれからの林業あり方を講演していただきました。講演終了後、日本最大規模の木材コンビナートの各施設を見学させていただきました。

2 日間の日程の中で、研究発表を行った三重大学（津市）、懇親会を行った榊原温泉（久居市）総会、特別講演を行ったウッドピア松坂（松坂市）と参加者の皆様には移動していただけかなければならずご不便をおかけしたかと思いません。また今回は年次大会終了後すぐの支部大会ということもあり、企業から研究者ならび地方研究機関の研究者の方々から実用的で大変興味深い発表を行っていただき、いつもとは若干異なった研究発表会となったと思います。

来年は福井県で開催の予定です。最後に、会場をお貸しいただいたウッドピア松坂および御協力いただきました関係各位に深くお礼申し上げます。